

基礎天端用セルフレベリング材 エスレベル[®] NK

基礎天端は家の構造体を基礎に設置する重要な部分で、平滑性と耐久性が求められます。「エスレベルNK」は優れた施工性による水平平滑面の確保と耐久性をあわせもち、精度の高い設計・施工が実現できます。

特長

クラック抵抗性

- ・基礎天端は乾燥を受けやすい環境です。
- ・エスレベルNKは繊維を混入することでクラックに対する抵抗性を高めています。

優れた平滑性

- ・エスレベルNKの流動性は、セルフレベリング材の品質規準を大きく上回ります。
- ・流すだけで平滑でレベル精度の高い天端面が形成されます。

高強度・高耐久

- ・材齢 28 日強度は 50N/mm² 程度です。
- ・一般的な基礎コンクリートと同等以上の強固な天端面が得られます。

短時間仕上げ

- ・基礎コンクリート打設から天端仕上げまで 1 日で作業が終了できます。

荷姿・配合



[荷姿] 紙袋 (25kg 入り)

練混ぜ水量	練上がり量
5.5 ~ 6.5 kg/袋	約 14 リットル / 袋

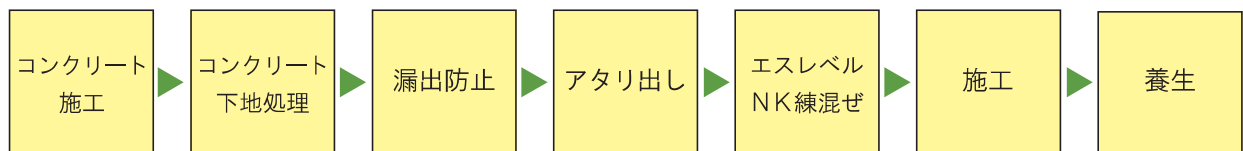
エスレベルNKの物性値

		試験結果	社内品質規準
練混ぜ水量		6.0kg/袋	—
密度 (kg/L)		2.08	—
フロー値 (cm)		24.5	19 以上
凝結時間	始発	10 : 30	—
	終結	14 : 25	20 以内
圧縮強度 (N/mm ²)	3 日	14.0	—
	28 日	50.3	27 以上
下地接着強度 (N/mm ²)		1.50	0.7 以上

※物性値は測定例であり性能を保証するものではありません。

施工手順

当日施工



施工上の注意：基礎コンクリートのブリーディング水が無くなった時点で施工して下さい。

翌日施工



施工上の注意：付着阻害物であるコンクリート表面のレイタンスを除去して下さい。プライマー（エスレベルNK用）を 5 倍に希釈し、施工箇所に塗布して下さい。プライマーが乾いた後に施工（流し込み）して下さい。

施工方法

1. 練混ぜ

【使用器具】

- ・ハンドミキサ（400rpm以上）
- ・練混ぜ容器（40～60L程度）
- ・水計量容器（最少目盛100cc）



- ①練混ぜ水量は、1袋に対して**6.0±0.5kg**です。
- ②所定量より少なめの水を練混ぜ容器に入れ、ハンドミキサで攪拌しながらエスレベルNKを徐々に投入して下さい。
- ③材料の軟らかさを確認して水量を調整して下さい。過剰な水量は材料が分離し、クラック、剥離、不陸の原因となります。
- ④ダマが無くなるまで十分に攪拌して下さい。攪拌時間は**材料投入後1～2分**を標準とします。

2. 打設

- ①エスレベルNKの施工厚さは5mm以上を標準とします。
- ②レベル表示は、釘等によって1m前後の間隔でアタリを取って下さい。
- ③エスレベルNKは、流込み用カップ（プラスチック製ジョッキ等）を用いて端部よりレベル表示（アタリ）に従って流し込んで下さい。



【施工長の目安】 ※1袋当たり14リットルとして算出

施工厚さ	1袋当たりの施工長さ		
	基礎幅 10cm	基礎幅 15cm	基礎幅 20cm
5mm	28m	18m	14m
10mm	14m	9m	7m
15mm	9m	6m	5m

3. 養生



施工後は、直射日光や風による急激な乾燥、降雨による雨打たれ、凍結等を防止するため、**シート養生等**の養生を行って下さい。養生は脱型まで継続して行って下さい。

4. 脱型

型枠脱型時期は、「日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事 2009 29節 住宅基礎用コンクリート」等を参考にして決定して下さい。標準的な脱型時期は、気温等によって変動しますが6～14日です。



留意事項

- ・流動性が極めて高いので、型枠等の隙間は完全にシールし漏出を防止して下さい。
- ・気温5℃以下での施工は避けて下さい。
- ・厚さ5mm以下の施工は、クラック、不陸、剥離等が懸念されますので避けて下さい。
- ・練混ぜ時間および練混ぜ水量を遵守して下さい。
- ・エスレベルNKの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等で地面より高い所へ置いて、全体をビニールシート等で覆って下さい。

取扱いの注意

- ・本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。
- ・取扱いの際には、安全データシート（SDS）をお読み下さい。
- ・目や口や鼻に入れないようご注意願います。万一入った場合は直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けて下さい。
- ・取扱いの際は防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具の着用をお願いします。
- ・子供に触れさせないようご注意下さい。

(2017年9月1日改定)

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号(アクロス新川ビルアネックス1階) ☎03-3523-0947～8

名古屋グループ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13(ちとせビル8階) ☎052-485-5748

大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号(桜橋西ビル9階) ☎06-6342-5880

九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル2階) ☎092-283-0311

本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118